



議会だより

Vol.116



小雨も吹き飛ばす活気に溢れた祭りとなった



田子町のにんには大人気!!



成田空港が近いので、航空会社のブースもありました

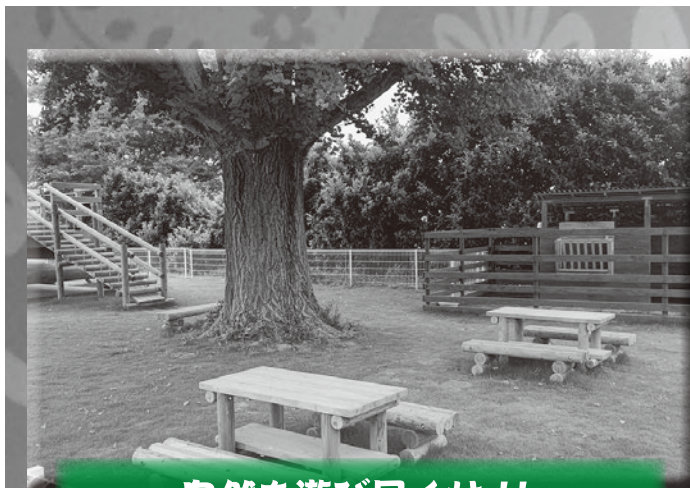
目次

- 1. 千葉県多古町常任委員会視察 P2~3
- 2. 定例会のあらまし/議案 P4
- 3. 一般質問 P5~11
- 4. 委員会報告/各議員所属一覧 P12~15
- 5. 議員紹介 P16

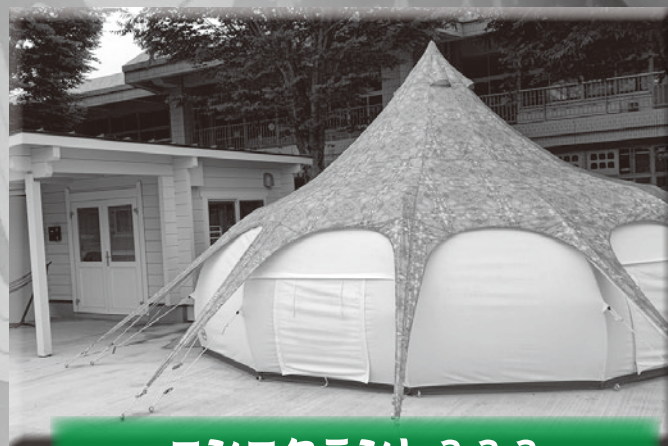
会視察 千葉県多古町廃校利用／あじさい祭り



メキシコをコンセプトとし、非常日常が広がる。夜にはライトアップされ、ナイトプールへ！



自然を遊び尽くせ！！



ニンクテント???

千葉県多古町では、廃校を利用しグランピング施設を展開している。公募により、株式会社HAMIRUへ委託し管理運営を任せている。株式会社HAMIRUは関東を中心にグランピング事業を中心に宿泊施設の開発及び運営を行い、地域との連携、地球環境と未来の子ども達を大切にしたいというCEOの想いを掲げ、ワクワクや感動を与える会社となつていきます。様々な国をコンセプトに、数カ所展開しているグランピング施設をお客様に周遊してもらうことを目標とし遊休地を活用し地域創生・地域雇用を広げている。

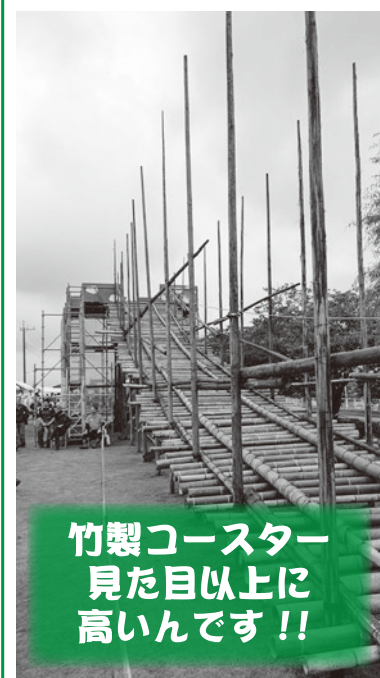
令和5年6月10日～11日 総務・文教常任委員



キャンプファイヤーっていいですね～



第39回ふるさと多古町あじさい祭り



竹製コースター
見た目以上に
高いんです!!



会場には屋台が並び、
たくさんの方々が来場者で
賑わっていました



売り切れごめん!

令和5年田子町議会 第1回臨時会 第2回臨時会 第2回定例会 あらまし

臨時会

令和5年第1回臨時会が5月9日(火)に開催され、報告、議案の上程・説明がされました。
令和5年第2回臨時会が6月1日(木)に開催され、報告、議案の上程・説明がされました。

定例会

令和5年第2回定例会が、6月20日(火)から6月23日(金)までの4日間の会期で開催されました。
6月20日には諸般の報告、議案の上程・説明がされました。
6月22日の一般質問には4名の議員が、23日には2名の議員が登壇し、多岐にわたり活発な議論がかわされました。

同日、議案の審議、請願の付託、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認がされました。

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果
報告第1号	専決処分した事件の承認について（田子町町税条例等の一部改正）	報告のみ
報告第2号	専決処分した事件の承認について（田子町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正）	報告のみ
報告第3号	専決処分した事件の承認について（田子町国民健康保険税条例の一部改正）	報告のみ
報告第4号	令和4年度田子町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ
報告第5号	一般財団法人田子町にんにく国際交流協会令和5年度事業計画並びに令和4年度事業報告及び決算について	報告のみ
報告第6号	公益財団法人にんにくネットワーク令和5年度事業計画並びに令和4年度事業報告及び決算について	報告のみ
議案第31号	田子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決 (賛8・否0)
議案第32号	工事請負契約の締結について	原案可決 (賛8・否0)
議案第33号	動産の買い入れについて（デジタルX線撮影システム購入）	原案可決 (賛8・否0)
議案第34号	動産の買い入れについて（消防自動車購入）	原案可決 (賛8・否0)
議案第35号	令和5年度田子町一般会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛8・否0)
議案第36号	田子町監査委員の選任について	原案可決 (賛9・否0)
議案第37号	田子町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第38号	田子町立田子幼稚園設置条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第39号	田子町消防委員会委員の承認について	原案可決 (賛9・否0)
議案第40号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第41号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第42号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第43号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第44号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第45号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第46号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第47号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第48号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第49号	田子町農業委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第50号	令和5年度田子町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決 (賛9・否0)
議案第51号	令和5年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛9・否0)
議案第52号	令和5年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛9・否0)
議案第53号	令和5年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛9・否0)

※議長は採決には加わりません。

一般質問

6月定例会では6月22日、23日に一般質問が行われ、**6人の議員**が町政について質問をしました。

内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。
TCVでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・P 6

- ・創遊村の指定管理について
- ・大福山の管理について

○尾形議員・・・P 7

- ・新知事誕生について
- ・大黒森施設の管理運営について
- ・産地直売施設について
- ・旧小学校施設活用について

○菊地議員・・・P 8

- ・物価高騰対策について
- ・大黒森地区の観光振興計画について

○北田議員・・・P 9

- ・コロナウイルスの5類移行に伴う対応と対策について
- ・空き家対策について
- ・地域活性化について
- ・町長の政治姿勢について

○中平議員・・・P 10

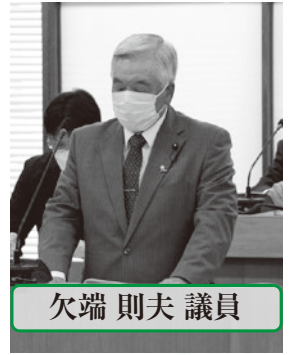
- ・子ども子育て支援について
- ・地域共生社会について

○山崎（一）議員・・・P 11

- ・世紀越えトンネルの具現化について
- ・にんにく振興について
- ・令和5年度施政方針について

一般質問って？

一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。



欠端 則夫 議員

創遊村と大福山の管理について

創遊村の指定管理者について

質 新しい指定管理者を募集するにあたり、電気、ガス、水道、燃料費等どれくらいになるのか公表しているのか。

答 指定管理者側の諸事情により令和5年4月末を以て撤退の申し出があり、5月から町直営管理になっている。只、ロジカウベルは休止状態となっている。新たな指定管理者の募集に当たっては、様々な事を明記した募集要項を定める事としており、内訳の年間の創遊村に掛る光熱水費は約126万円となる。それ以外の経費で人件費及び施設の保安管理等に434万円、創遊村の年間施設管理費用の上限額が560万円位、大黒森施設全体の上限額は約1

千万円と試算している。

質 電気料金の減少のために電気の契約上限を下げる事は可能か。

答 出来ないと思われる。

質 施設修繕は指定管理者が持つのか。町が持つのか。境界線はどのくらいか。

答 模様替えや小破修繕については指定管理者、大規模な工事や自然災害等により、原型を損ねた場合は町側。大体5万円位が境界と思われる。

質 樹林の畳が損傷著しい。利用者の評判も良くない。これは町側の持ち分ではないか。

答 利用管理者と十分話を行うが、町側の持ち分ではない

かと思われる。

質 次の指定管理者を急いで探さないかと冬が近くなり、営業が厳しくなる。その事をどの様に考えるのか。

答 早急に公募手続きを進める必要が有るものと認識している。応募期限スケジュールについては応募期限を7月21日迄と設定しており、7月末までに選定したい。更に議決承認を得て9月1日より、新たな指定管理者に移行する予定。

大福山の管理について

質 大福山の元スキー場が整備されていない状況で眺望も良くなく中学校・小学校からの景観も良くない。どの様な方策を考えているか。

答 以前は年に一・二度関係者等が刈り払い整備をしながらスキー場として活用していたが、23年度からは活用を止めた。その後、グラウンドから数メー

トル程度は用務員による刈り払いを行っている。利用を停止して10年以上経っており、学校施設としての管理は難しいものと考えている。大福山公園の管理と併せて整備方針を決定した上で対応していきたい。

質 大福山の上の道から中学校、小学校を望む位置で桜を眺める景観は大変良いが、草や木で向こうまで見通せない。数メートル位でも下方の草を刈り、そこにある案内図近辺に椅子が丸太でも置いて休みながら下方を眺められないものか。

答 良い提案で十分検討して参りたい。

質 我が町には、みろくの滝があるが、観光客が少ない。黒石の中野紅葉山は大福山位の広さに多数の人が訪れる。我が町でも参考にして観光開発を進めていってはどうか。

答 色々な事を考えながら物事を進めていきたい。



尾形 憲男 議員

産地直売施設自立運営 を目指す

新知事誕生について

質 6月4日に、任期満了に伴う第22回知事選挙の投票が行われ、即日開票された。結果は宮下

宗一郎氏が、他の無所属新人3氏に大差をつけて初当選をはたした。青森新時代をスローガンに掲げ、県政刷新を求める有権者の思いを追い風に支持を広げた宮下氏。田子町でも、1432票、得票率では60・4%の支持を得た。山本晴美町長は、小野寺氏を支持。これにより、県と町との関わり方に変化が生まれるのか。現状をどのように把握し、今後の対応、どのようなスタンスで、アプローチしていくのか。

を大きく前進させたい」
今後は、町としての課題や要望などを的確、適切に県へ届け、新知事の県政への積極的参画と協力をしっかりとお願いしていく。

質 大黒森施設の管理運営について。指定管理者（コアライン）が辞めた。指定管理者選定に問題はなかったのか、選定にあたっての反省点。今後も施設を運営していく場合のスケジュール。施設の目的、目標、着地点を定め管理しなければいけない。責任を持った対応を望む。

答 令和5年5月から町直営管用職員2名を雇用し維持管理をしている。創遊村は、体験メニューの継続や各種イベント等を開催できるように努めている。ロジジカウベルの宿泊業は休止状態。指定業者選定は、選定委員会で審議した。決定は町長の責任。募集要項を定

め、ケーブルテレビや全戸配布チラシ、町ホームページ等を活用し、広く周知する。募集説明会及び現地案内を今月下旬、応募期限は7月21日。選定委員会にて、7月末に決定する。9月1日より新指定管理者へ移行予定。大黒森施設は体験型エリア、町民、観光者が「体験・宿泊」を提供。周遊型観光拠点化、町全体での滞在型観光を目指す。



ロジジカウベル

産地直売施設について

質 「タッコ・ファーマーズ・マーカー」の延長した実証実験期間が令和6年7月で終わる。

総括する為には判断基準が必要。町ではどのような指針を出しているのか。

答 公設民営方式により、整備した施設。自立運営を目指すしている。継続運営できる体制づくり、運営方法を8月頃、町の支援範囲や役割分担の整理を9月頃、新たな運営形態案を10月に示す。

旧小学校施設活用について

質 本年3月末をもって清水頭上郷、両小学校が田子小学校に統合し新たな歴史を刻もうとしています。その一方両校の跡地利用についての検討は、後回しとされてきた。両施設についての町としての方針を伺う。

答 両校とも、校舎・体育館、敷地等も含めて、職員1名を配置し、維持管理に努めている。選挙の投票所として活用のほか、地域づくり団体の利用が始まっている。今後の活動を支援していきたい。「地域学」や「地元学」の重要な場所として活用していく。



菊地 健二 議員

物価高騰に伴う生活不安 解消する対策を

物価高騰対策について

質 新型コロナウイルス感染症や世界的な危機などによる物価高騰が続く中で、今後の新たな物価高騰対策は。

答 町では、これまで国の交付金などを活用し住民生活を支えるための商品券配布や燃油券の配布事業を実施している。また、産業を支えるための給付事業や種苗購入助成事業を行っている。さらには、先行きが見えない状況で特に影響を受けている畜産農家とに産地を守るための支援対策を行っている。5月定例会においては、住民生活支援と地域経済の活性化のために商品券配布事業を上程している。今後は、住民生活だけでなく、産業や福祉、教育など

幅広く検討し、必要な対策を実施したい。

質 新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したことにより国からの交付金は見込めるか。

答 国からの交付金の見通しについては厳しい状況であると考えているが、必要に応じて



原油高騰は家計に直接の打撃を与える

厳しい町財政状況ではあるが、基金の活用も視野に入れて考えて行きたい。

大黒森地区の観光 振興計画について

質 大黒森地区は町の主要な観光スポットであるが、現状観光客は少ない状況である。今後更なる誘客を図る上で、現有施設の活用方法や遊具の整備頂上へのアクセス道路の整備等を盛り込んだ観光振興計画が必要と思われるが。

答 町の観光振興計画は、「第6次総合振興計画」を上位計画とし、個別計画として「第2期まち・ひと・しごと創生田子町総合戦略」や「環十和田湖ゲートウェイ構想」に施策の方向性を掲げている。この様な中で、旅行者が「体験する・泊まる」事が出来る観光メニューを提供出来るエリアとして運用していく。現状の施設は経年劣化が著しいため、いかに有効活用できるか工夫していきたい。また、

アフターコロナを見据えた施策展開が必要であることから、現状と課題を把握しつつ、田子の強みを活かした施策展開を図っていく。大黒森地区の観光振興計画の必要性は高く重要であるから、今後は計画策定組織を立ち上げ、本年中の成案を目指したい。

質 大黒森地区の観光振興計画を策定するにあたり、歴史や環境を理解すると共に、補助金などを活用した施設の整備や、大きな投資をしなくても心に残るなども考慮してはどうかと考えるが。

答 全体計画策定には、町民合意や実現しようとする職員の熱意、議会の協力が必要であると感じている。大きな投資をしなくても、町民の熱意や技術を紹介していく、そういう場所を作るのも行政の役割と考えており、これらを踏まえて観光振興計画を作っていきたい。



北田 騰 議員

町長4期・13年目へ

向けて

2類から5類へ今後の対策は

質 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類に移行しました。今後の対応は。

答 町は、自粛していた地域活動の再開に向け、マスク着用の効果的な場面などを紹介しながら、基本的な感染症対策を推奨している。今後の対応は、三八管内の市町村や町内の感染状況を確認し、拡大が心配される場合には注意を呼びかける。

質 今後の小中学校の対応について。

答 ①学校教育活動においてマスクの着用は求めない。②自宅での検温と健康状態の確認。③食事の際の黙食は求めず、大声は控

えることや机を向かい合わせにしない。④密閉、密集、密接の回避、手洗いや換気などの基本的感染症防止策を継続する。

質 コロナ禍を経験してきた生徒・児童に対する見守り・指導について。

答 田子小学校では、子供たちの声が小さく聞こえづらくなってきたことから、大きな声で挨拶させたり、歌わせたり、声の出し方の指導をしている。田子中学校では、本来、育つべき社会性が育たなかったと感じていることから、コミュニケーションの取り方について指導して欲しい。

空き家課題解決の一助に

質 全国空き家アドバイザー協議会田子支部が結成されたが、

活動内容と町の関わり方について。

答 地域の空き家バンク等との連携とその活性化等に向けた取り組み、住民との空き家活用のお合意形成等を掲げている。町との関わりは、田子町、全国空き家アドバイザー協議会田子支部、全国古民家再生協会の三者による連携協定が締結され、これまで以上に多くの問題に対処し、解決につなげていくこととしている。

長期自粛後の地域活性化策

質 新型コロナウイルスでの長期の自粛は町内会・自治会等様々な面で大きな影響を地域に見え、地域のつながりの希薄化も見られる。今後の活性化策について。

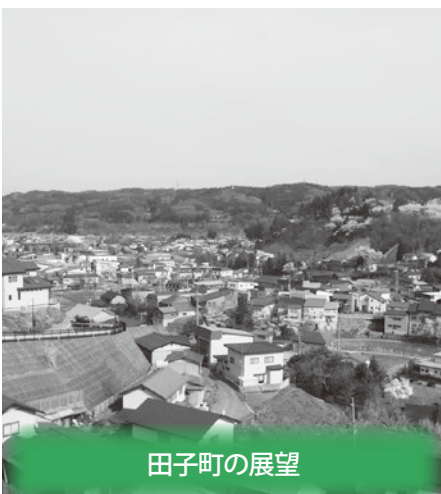
答 産業では、各種支援策のほか、にんにく三大まつりを通して交流人口や関係人口を増やし賑わいの創出を図る。地域では、自治会活動の推進に向け、地域づくり助成事業や協働のまちづくり事業などを継続して支援するほか、地域共生社会の実現に向けて取り組む。教育では、町民大運動会、田

子町チャレンジデー、グルメマラソンなどの運動関係事業によるスポーツ活動等の振興を図る。

年内実施の町長選への思いは

質 本年12月に実施される町長選への思いは。

答 自然災害や社会情勢によって、必ずしも公約を実現できるものではないとしても、可能な限りの合意形成を行い、工夫を凝らして予算の獲得と無駄のない執行に努め、より良い選択と実現に努めてきた。今後においても変わることはない政治姿勢を貫き、引き続き町政運営に当たり、意欲的に諸課題の解決に取り組んで参りたい。



田子町の展望



中平 美賀子 議員

教育・福祉の充実から

田子町を担う力へつなげる

子育て世代が抱える不安

質 子育て世代より高校進学時の通学について不安を抱える声があります。町での取り組みや対応についてお聞かせください。

て、ご理解とご協力を得られるよう更に努めて参りたい。

談先が分からないと言う声があります。町での取り組みや対応についてお聞かせください。

答

①取り組みについて

去年から、田子町独自の対応策として、高校生一人あたり、毎年8万円の就学継続支援給付金を保護者の皆様に支給する取り組みを始めた。田子町内から発着する路線バスを是非とも利用して、安心・安全に通学できるように、活用していただきたいと考えている。

②対応について

子ども達の安全な通学体制確保を第一に考えることの重要性について、保護者に直接説明し



歩道が無い道を通りバス停まで行かなければならない

地域共生社会実現へ向けた 行政の取り組みは

質 少子高齢化・人口減少にと
もない世代別福祉問題も複雑化している中で、それぞれ相

答

町では、平成30年4月にこれまで介護保険制度や予防接種、健診などの保健業務に、虐待や成年後見制度に関すること、子育てや医療・介護の悩み、生活困窮に関することなどの相談業務を加え、高齢者からすべての年代の方を対象とし、課名を健康増進課から地域包括支援課に一新し、業務をスタートしています。相談業務につきましては、毎年、自治会総会でお配りしている「町が取り組む予定の主な事業について」で、内容を掲載し周知をしています。また、住み慣れた地域で互いに支え合い、いきいきと暮らすことのできるように地域共生社会の実現に向けて、保健医療福祉、地域福祉、子ども子育て、障害

福祉、住民生活の各専門部会が、それぞれの課題を洗い出し、解決に向けて協議を進めています。今後、地域共生社会を目指すうえで、地域の声をお聞きしていくことは、地域と繋がるために必要であることから、現在、各部会が取り組んでおります。心と体の健康に関することや見守りの強化、障がい者の自立や子育てに向けた支援、住民の支え合いの仕組みづくりに関することなど、複数の課題と共に、相談窓口の在り方についても協議を進め、相談窓口を理解していただけるよう周知に努めます。お悩み事やお困りごとで相談先がわからない際は、せせらぎの郷にご相談いただきますと、関係部署などにおつなぎすることもできますので、一人で悩みを抱え込まず、ご相談いただきたい。



山崎 一義 議員

世紀越えトンネルの 具現化について

世紀越えトンネルの具現化について

質 具現化の経緯の中で、何十年活動し、要望内容と国県の考え方や動向の反応について。早期具現化を図るための町長の考えを伺う。

戸市、近隣市町村とこれからの方針や意思の疎通を図るための会議を開催し、要望活動を行っていく。

にんにく振興について

質 弘前大学、八戸工業大学との共同研究事業及び町内農家と種の栽培試験を行っているが、今後の植付作業に活かすために、試験内容、分析結果について、農家の方に説明出来るか伺う。

いが逆に「割れ」や「おんぶ症」の発生量が多いため県等で実証を進めている。窒素量を10a当たり20kg〜25kgを推奨している。3つの実証試験で得られた結果は、改めて説明する機会を作りたい。

答 質の高い堆肥を生産、販売してもらうため、町でも担当課に現地を調査させ検討していきたい。



袖平にある堆肥所

答 作業準備中の早い時期に開催できるように進めていきたい。

質 土づくりに堆肥は必要不可欠と思うが、生産組合等の製造堆肥はどのように使用されているのか伺う。

答 町内の葉たばこや野菜などに利用され、にんにく栽培に利用された方は20名である。完熟堆肥の投入を進めているが、にんにくに適した堆肥基準が無いため、学校法人北里研究所等と堆肥の研究を進めていく。

令和5年度施政方針について

質 施政方針の1つ「産業の活性化」の中で農家の担い手の確保、にんにくの生産拡大、肥育技術の向上、民有林の保育等の森林整備の支援などの内容と取り組みについて伺う。

答 平成7年度から28年間活動し、大湯と夏坂間の急勾配・急カーブの危険区域を、一部トンネル化し、整備するバイパスルート建設の早期実現に向けて要望活動をしてきた。青森、秋田両県の知事と県選出国会議員とで基本的合意がなされ、県では、新広域道路交通計画構想路線として八戸鹿角圏域間として地図に掲載した。国土交通省も重要な案件であることを認識し、東北地方整備局も同一の考えを示し、整備に向けた機運が高まってきた。ストック効果を数多く上げ、整備の必要性を訴えていくことが重要なため、鹿角市、八

答 弘前大学とは、イモグサレセンチュウ対策を主に、抵抗力を高め、被害の軽減を図る、低環境負荷型栽培法の試験を進めている。試験中にいくつかの薬剤に可能性が見られたので、再現試験を実施し、作業性の検討も進めていく。八戸工業大学とは、たつこにんにくのブランド化と、付加価値を高める栽培方法の確立を目指し、更に実証試験を実施していく。美六姫の栽培試験では、成長力は高

質 袖平地区の堆肥生産施設は、牛の頭数が増えたため、施設がせまく感じたので、中山間事業やその他事業で1棟建設する考えを伺う。

答 農家の担い手確保対策として、「アグリカレッジ」、「畜産カレッジ」を行い、自立した営農活動を支援する。にんにくの生産拡大では、美六姫の種の価格を来年度まで半額にし、生産拡大を図っていく。肥育技術の向上では、上物率が高くなっているため、今後も、畜産カレッジで肥育技術を学んでほしい。民有林に対する森林整備の支援では、森林環境税を活用した「森林整備推進事業補助金」を引き続き活用していただきたい。

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 北田騰副委員長 尾形憲男委員
欠端則夫委員 山崎一義委員

協議

○実施日 5月9日
5月9日開会の令和5年第1回臨時会の議事日程について。

○実施日 6月9日
6月20日開会の令和5年第2回定例会の議事日程について。

議会広報編集委員会

○実施日 3月27日
議会日より第115号の内容確認、誤字・脱字・レイアウトについて校正を行い、31日に再度招集し最終校正を行い、4月20日に議会日より発行しました。

○実施日 5月9日
議会日より116号の構成、スケジュールについて協議し、担当者を割り振り、順次業務を行いました。

総務・文教常任委員会

【構成委員】 北田騰委員長 宮村尚哉副委員長 菊地健二委員
中平美賀子委員 澤口勝委員

○実施日 6月6日

教育課

幼稚園設置条例の一部改正と6月補正予算の概要について説明があり、校務支援システムに係る費用のほか、旧小学校施設を活用し地域活動を行う団体に対する補助金を計上すると説明があった。

総務課

田子町消防委員会委員の任期満了や異動に伴い、消防関係者4名と学識経験者2名について議会の承認を求めため議案上程すると説明があった。

政策推進課

町のサイン整備計画では、本年度3基程度整備する予定であることや、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施計画などについて説明があった。

住民課

地域安全に関することについては、本年4月に行われた春の交通安全運動に伴う街頭指導状況の報告、その他マインバーカードへのポイント終了や交付率について説明があった。

税務課

税の徴収状況について昨年度と比較すると一般税では0・4%の減、国民健康保険税では1・5%の減となっており、今後も引き続き徴収対策を強化していくと説明があった。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長 尾形憲男副委員長 椛本義見委員
山崎美代志委員 山崎一義委員

○実施日 6月7日

診療所・老健施設

4月1日付けで理学療法士1名、6月1日付けで看護師1名を採用し、事業継続のため、今後とも採用に向けて取り組んでいくと説明があった。

地域包括支援課

新型コロナウイルスワクチン追加接種業務について、今後の接種計画などの説明があった。

住民課

コロナ禍における生活支援と地域経済の活性化を目的に、課税状況に応じて、商品券を配布すると説明があった。

建設課

町営住宅については、長寿命化計画を基に長期計画に反映させ、維持管理修繕を行うと説明があった。

産業振興課

たっこにんにく等の振興開発についてオリジナル種子の生育状況は、おおむね順調な生育となっていると説明があった。

商工振興課

イベント状況についての説明があり、通常開催を基本としつつ、ウィズコロナを踏まえた新たな企画立案をし、進めていくと説明があった。

農業委員会

農業委員の任命について、3年間の任期満了に伴い10名の委員を新たに任命する必要があり、議会の同意を求めため6月定例会に上程すると説明があった。

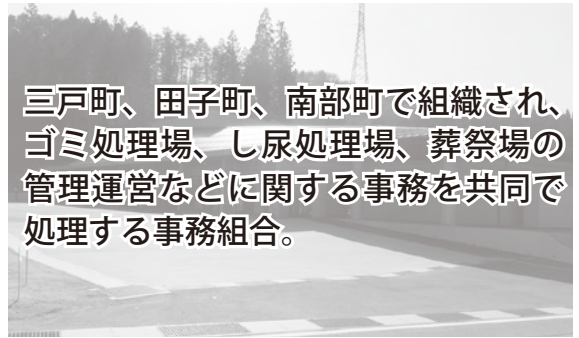
田子町議会議員所属 一部事務組合・委員会各種一覧

※議員は様々な委員会や一部事務組合に所属しており、多岐にわたり活動しています。

○三戸地区環境整備事務組合

任期：R 5. 5. 30～R 9. 5. 29

- ・尾形憲男
- ・梶本義見
- ・宮村尚哉
- ・欠端則夫
- ・北田騰

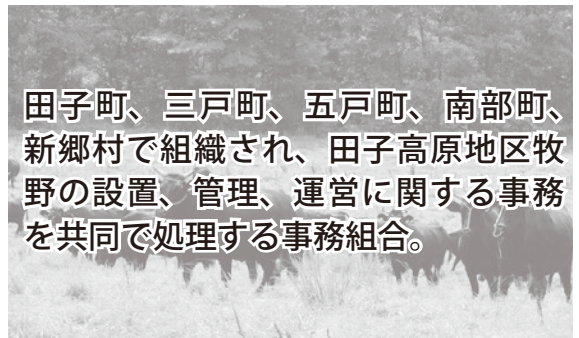


三戸町、田子町、南部町で組織され、ゴミ処理場、し尿処理場、葬祭場の管理運営などに関する事務を共同で処理する事務組合。

○田子高原広域事務組合

任期：R 5. 5. 30～R 9. 5. 29

- ・梶本義見
- ・山崎美代志

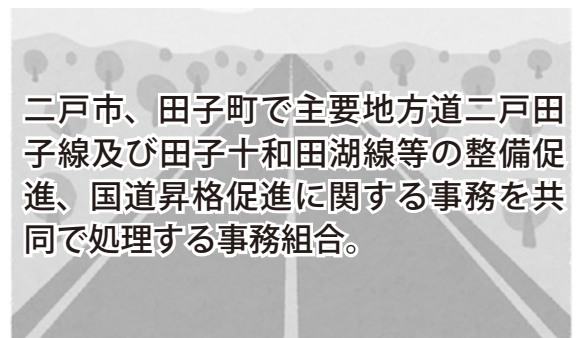


田子町、三戸町、五戸町、南部町、新郷村で組織され、田子高原地区牧野の設置、管理、運営に関する事務を共同で処理する事務組合。

○二戸市・田子町道路組合

任期：R 5. 5. 30～R 9. 5. 29

- ・澤口勝
- ・尾形憲男
- ・欠端則夫
- ・山崎一義
- ・菊地健二

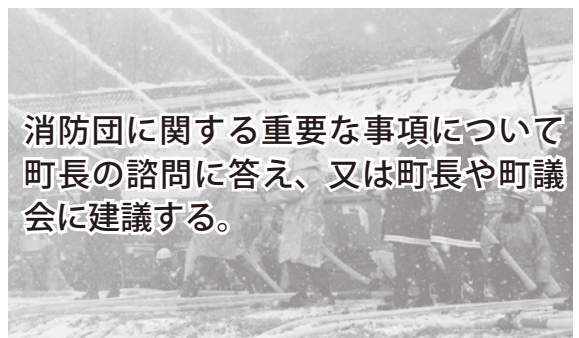


二戸市、田子町で主要地方道二戸田子線及び田子十和田湖線等の整備促進、国道昇格促進に関する事務を共同で処理する事務組合。

○田子町消防委員会

任期：R 5. 5. 30～R 9. 5. 29

- ・欠端則夫
- ・菊地健二
- ・中平美賀子

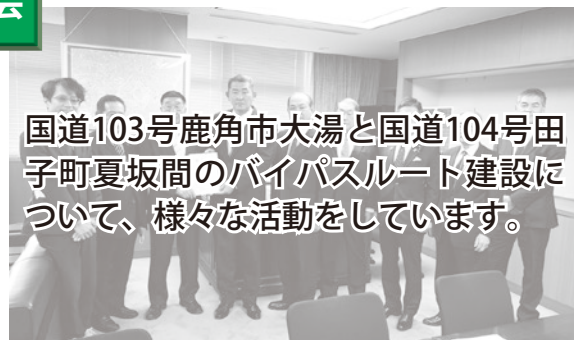


消防団に関する重要な事項について町長の諮問に答え、又は町長や町議会に建議する。

○世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会

任期：R5.5.30～R9.5.29

- ・澤口勝
- ・尾形憲男
- ・欠端則夫
- ・山崎一義
- ・菊地健二



国道103号鹿角市大湯と国道104号田子町夏坂間のバイパスルート建設について、様々な活動をしています。

○田子町県境不法投棄事案終結調査委員会

任期：R5.5.30～R9.5.29

- ・梶本義見
- ・宮村尚哉
- ・欠端則夫



○田子町廃棄物減量等推進協議会

任期：R5.6.1～R7.5.31

- ・欠端則夫（産業・民生常任委員長）

○田子町農村活性化推進協議会

任期：R5.5.30～R9.5.29

- ・澤口勝（議長）

○田子町地域安全推進協議会

任期：R5.6.1～R7.5.31

- ・北田騰（総務・文教常任委員長）

○田子町民生委員推薦会委員

任期：R5.6.1～R7.5.31

- ・欠端則夫（産業・民生常任委員長）

○田子町農作物美人華プロジェクト委員会

任期：R5.6.1～R7.5.31

- ・欠端則夫（産業・民生常任委員長）



○監査委員

任期：R5.5.30～R9.5.29

- ・北田騰

○田子町農村活性化推進協議会

任期：R5.5.30～R9.5.29

- ・澤口勝（議長）

※役職による所属は、名前の後ろに（ ）がついています。

○三戸町及び田子町教育研究協議会

任期：R 5. 6. 1～R 7. 5. 3 1 ※議長の任期はR 9. 5. 2 9

- ・ 澤口勝（議長）
- ・ 北田騰（総務・文教常任委員長）

○八戸地域広域市町村圏事務組合

任期：R 5. 5. 3 0～R 9. 5. 2 9

- ・ 尾形憲男

○T C V放送番組審議会

任期：R 5. 6. 1～R 7. 5. 3 1

- ・ 北田騰（総務・文教常任委員長）

○社会福祉法人田子町社会福祉協議会

任期：R 5. 6. 1～R 7. 5. 3 1

- ・ 欠端則夫（産業・民生常任委員長）



○三戸地区暴力追放推進協議会

任期：R 5. 5. 3 0～R 9. 5. 2 9

- ・ 澤口勝（議長）

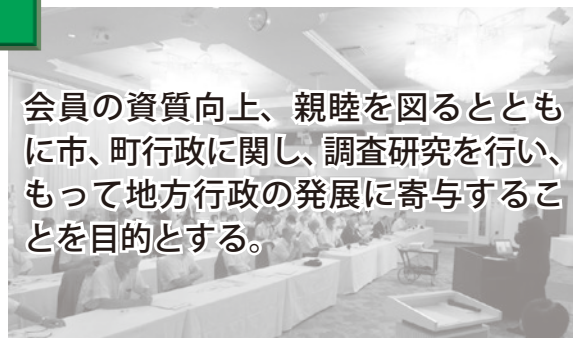


○二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会

任期：R 5. 6. 1～R 7. 5. 3 1

- ・ 澤口 勝「幹事」
- ・ 尾形憲男「幹事」
- ・ 宮村尚哉「幹事」
- ・ 欠端則夫「監事」

会員の資質向上、親睦を図るとともに市、町行政に関し、調査研究を行い、もって地方行政の発展に寄与することを目的とする。



つばやき

令和5年5月30日から町の未来を託された私たち10人の議員。アフターコロナ、物価高騰、地域活性化等、様々な問題が山積みですが、町民の皆様のご代表として町執行部と共によりよい田子町を目指し邁進して参ります。議会だよりでは議員の活動の一部を年4回、「手に取りたくなる広報誌」を目指し、取り組んでいきます。

(宮村 尚哉)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

(116号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 北田 騰

委員 尾形 憲男

欠端 則夫

山崎 一義

執筆協力

菊地 健二

中平美賀子

田子町議会議員の紹介

- ・ 議席番号 氏名
- ・ 行政区 ・ 年齢 (R5.5.30現在) ・ 在職任期数

※令和5年5月30日現在

新議長あいさつ

この度、令和5年第2回臨時会におきまして、伝統ある田子町議会議長に就任いたしました。改めまして、責務の重大さを認識し、議長として全力を傾け公正かつ円滑な議会運営に取り組んで参ります。我が田子町は少子高齢化や福祉・医療のあり方等、様々な問題に直面しております。地方自治体の果たすべき役割は大きく、町民が安心して暮らせるよう、議員一人ひとりが十分に役割を果たし、小さな声も町政に反映させることが出来るよう活動して参りたいと存じます。

議長



- ・ 10番 澤口 勝
- ・ 遠瀬
- ・ 74歳 ・ 11期

副議長



- ・ 1番 尾形 憲男
- ・ 清水頭
- ・ 52歳 ・ 5期



- ・ 2番 榎本 義見
- ・ 野々上
- ・ 71歳 ・ 6期



- ・ 3番 宮村 尚哉
- ・ 矢田郎
- ・ 52歳 ・ 4期



- ・ 4番 欠端 則夫
- ・ 川代
- ・ 69歳 ・ 3期



- ・ 5番 山崎 美代志
- ・ 新田
- ・ 67歳 ・ 3期



- ・ 6番 北田 騰
- ・ 南側
- ・ 70歳 ・ 2期



- ・ 7番 山崎 一義
- ・ 下田子
- ・ 68歳 ・ 1期



- ・ 8番 菊地 健二
- ・ サンモール
- ・ 61歳 ・ 1期



- ・ 9番 中平 美賀子
- ・ 西館野
- ・ 52歳 ・ 1期